

諏訪の景気動向

2019年11月

(2019年10月末D・I調査)



ハヶ岳(原村)

《2019年11月29日》

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

電話 0266-23-4567(代) FAX 0266-23-8044

諏訪地方の景気動向（2019年10月末調査）

「2019年10月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 195 社のご協力を得て行った 2019 年 10 月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは $\Delta 21.0$ となった。前回調査時(2019年7月末、以下同)の $\Delta 9.2$ より 11.8 ポイント悪化した。前年同月比では、悪化幅が広がった前回の $\Delta 34.3$ とほぼ同様の $\Delta 36.4$ だった。製造業の業況判断DIは $\Delta 18.8$ で、前回の $\Delta 16.7$ よりやや悪化した。また、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIが $\Delta 25.8$ で、前回の 8.2 から大幅悪化した。台風 19 号の影響を受けた観光業の落ち込みが、全体を下押しした。一方、「3 ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が $\Delta 6.1$ (前回 $\Delta 7.0$)とやや改善したが、非製造業は $\Delta 22.6$ (前回 8.2)と悪化し、回答全社では $\Delta 11.3$ (前回 $\Delta 2.4$)となった。

10 月は消費税の税率が 10%に引き上げられ、9 月末の駆け込み需要の反動が見られたが、政府の施策もあり 8%時より落ち着いていた。ただ、増税以上に台風の影響が大きく、紅葉シーズンに入った連休時の台風は、施設などへの直接被害は少なかったものの、JR中央線の特急運休と中央道通行止めの長期化が客足に響き、観光業が大打撃を受けた。

製造業は、好調だった前年同期に比べると、好転した企業が 12.0%に対し、悪化した企業は 49.6%にのぼり、業況判断DIは $\Delta 37.6$ で、低調な状態が続いている。ただ、前回の $\Delta 45.6$ よりやや改善した。3 ヶ月前に比べ、受注状況DIが前回の $\Delta 28.1$ から $\Delta 18.8$ と水面下ながら改善し、収益性DIも前回の $\Delta 26.3$ から $\Delta 17.3$ へ改善している。消費増税の影響は、3 ヶ月前に比べて好転した企業はなく、12.8%の企業が悪化した。87.2%が横這いで推移し、総体的には影響は少ない。また、台風の影響は、34.6%が「多大」または「多少」としているが、65.4%が影響はないとしている。依然、米中貿易摩擦をきっかけとした世界経済減速の影響が大きい。見通しが不透明で、「3 ヶ月後」の業況予想は $\Delta 6.1$ と前回($\Delta 7.0$)とほぼ同様になっている。

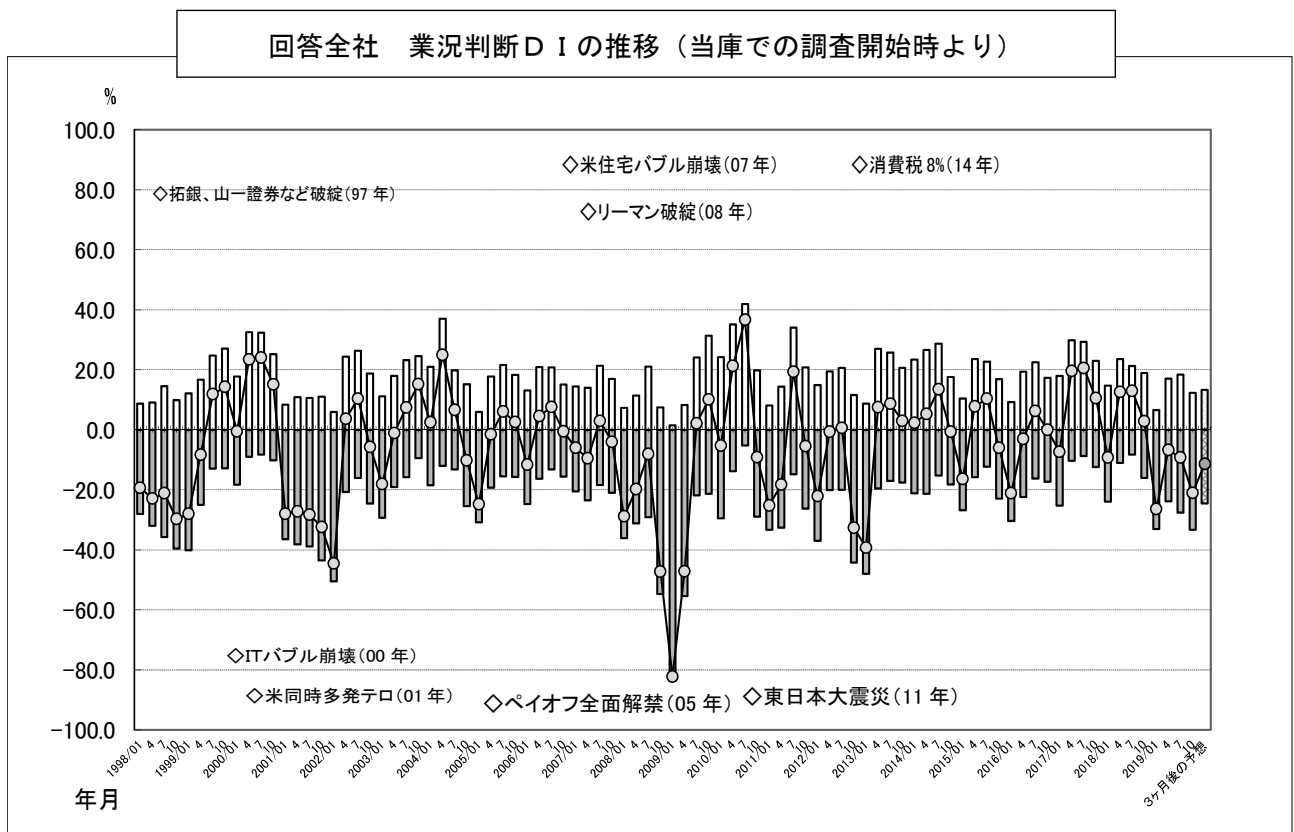
商業は「3 ヶ月前」と比べ、業況判断DIは $\Delta 29.4$ で前回の $\Delta 12.0$ から悪化した。来店客数DIが前回の $\Delta 24.0$ から $\Delta 38.2$ へ悪化し、客単価DIも前回の $\Delta 8.0$ から $\Delta 11.8$ へ悪化した。「前年同期」と比較すると、業況判断DIは前回の $\Delta 16.0$ から $\Delta 47.0$ に大幅悪化している。消費増税の影響は、「3 ヶ月前」に比べて「好転」した企業は 2.9%で、50%の企業が「悪化」とし、駆け込み需要の反動減が表れている。台風の影響は「多大」と「多少」合わせて 67.7%の企業が感じている。「3 ヶ月後」の予想は、来店客数DIが前回の $\Delta 24.0$ から $\Delta 20.6$ 、売上DIが $\Delta 28.0$ から $\Delta 26.5$ へやや改善したが、収益性DIは前回の $\Delta 16.0$ から $\Delta 17.7$ へ悪化し、業況判断DIは前回の $\Delta 12.0$ から $\Delta 17.6$ と悪化予想が増えている。

観光・サービス業は、例年 8 月に次ぐかき入れ時の 10 月に発生した台風 19 号が、大打撃となった。「3 ヶ月前」と比較した業況判断DIは $\Delta 45.4$ で、前回の 63.6 から大幅に悪化した。交通網の不通を含む台風の影響は 80%が「多大」、10%が「多少」としている。消費増税の影響も 40%の企業が「悪化」とし、観光業はダブルパンチに見舞われた形となった。集客が多い関東圏が被災地となり、紅葉シーズンでにぎわはずが、1 つの台風で全ての客足が止まる秋のシーズンの経営の難しさが際立った月となった。台風予報の時点で休館を決め、予約

を取らなかった施設もある。冬季となる「3 ヶ月後」の業況判断予想DIは、台風による損失補てんが難しい上、消費税増税の影響を50%が「悪化」するとして、△9.1(前回 36.4)となっている。

建設業は、「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは△5.9で前回の0.0から悪化した。受注状況DIが△17.7で前回の15.4から悪化した。「3 ヶ月後」の業況予想DIも△41.2で前回の23.1から悪化した。足元の受注は確保しているが、景気低迷で工場などの大型工事の動きが鈍くなることが懸念されている。諏訪地方の2019年9月の新設住宅着工戸数は91戸で、前年同月比11戸増加(13.7%)した。2019年4月～9月の累計着工戸数は627戸で、前年同期比97戸増加(18.3%)した。10月の市町村からの受注工事は合計87件609百万円で、前年同月比で件数は6件減少したが、契約金額は33百万円増加した。4～10月に地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は114件5,544百万円で、前年同期より件数、金額とも増加している。

雇用状況は、2019年9月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.33ポイント下回り、前月を0.01ポイント下回る1.52倍だった。今年度に入り、6ヵ月連続で前年同月を下回っている。1倍台の維持は66ヵ月連続となっている。長野県内は1.56倍で4ヵ月連続前月を下回り、全国は1.57倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が1,445人で前年同月比142人減少(△8.9%)し、新規求職者数705人で前年同月比71人増加(11.2%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、飲食店・宿泊業で7.9%、運輸業で4.5%増加したが、生活関連サービス・娯楽業で39.8%減少した。求人の要因別は、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順となっている。1件10人以上の人員整理は1件で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は31人で、前年同月より8人増加し、前月より7人増加した。



業況判断DIの推移 「3ヵ月前と比較して」

回答全社(195社)の「3ヵ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業 12.3%、「横這」企業 54.4%、「悪化」企業 33.3%で△21.0となった。前回より好転企業が減少し、悪化企業が増加した。前回調査時点の3ヵ月後の予想DIは△2.4で、予想より大幅悪化している。製造業は、「好転」企業が前回の14.0%から12.8%へ減少し、「悪化」企業は30.7%から31.6%へ増加し、DI値は前回の△16.7から△18.8へ悪化した。非製造業は、「好転」企業が前回の28.6%から11.3%へ減少し、「悪化」企業が20.4%から37.1%へ増加した。DI値は観光・サービス業が△45.4で前回の63.6から109ポイント悪化し、商業は前回の△12.0から△29.4へ悪化した。建設業も△5.9で前回の0.0から悪化した。

産業別業況表

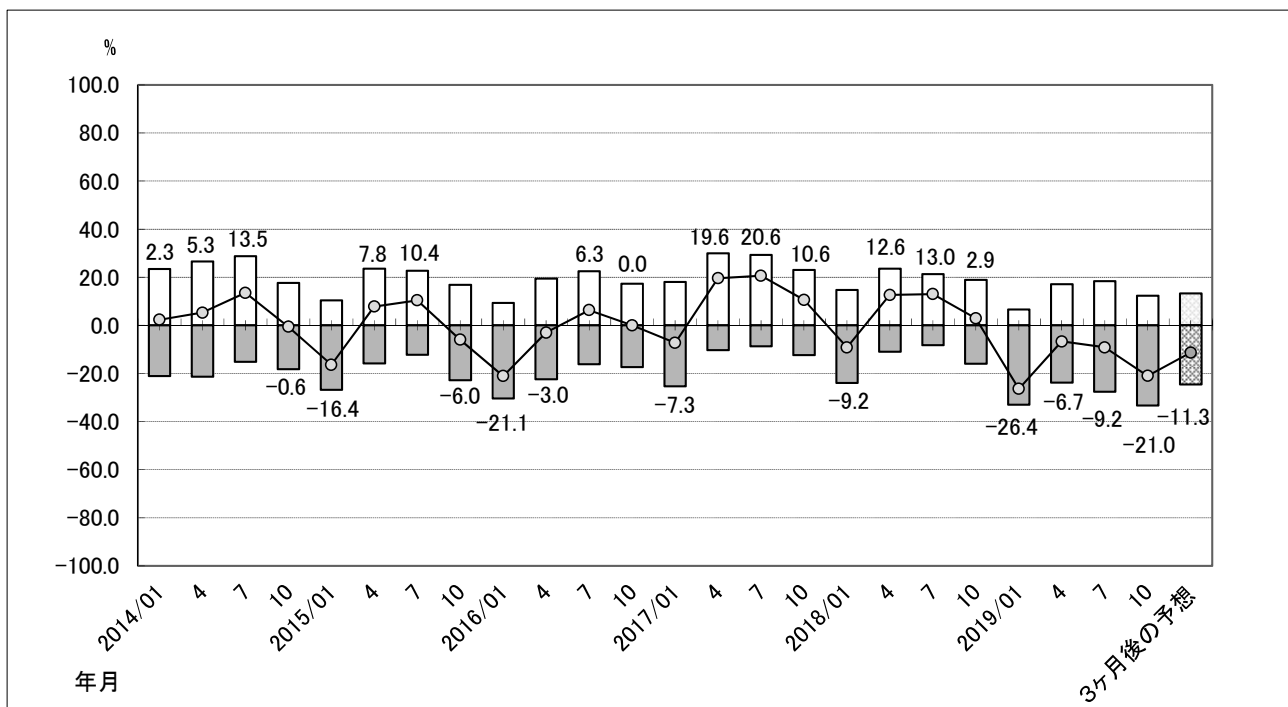
(企業数・%) 表-1

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	195	12.3	54.4	33.3	-21.0	195	11.3	41.0	47.7	-36.4	195	13.3	62.1	24.6	-11.3
製造業	133	12.8	55.6	31.6	-18.8	133	12.0	38.3	49.6	-37.6	133	15.0	63.9	21.1	-6.1
非製造業	62	11.3	51.6	37.1	-25.8	62	9.7	46.8	43.5	-33.8	62	9.7	58.1	32.3	-22.6
商業	34	8.8	52.9	38.2	-29.4	34	5.9	41.2	52.9	-47.0	34	11.8	58.8	29.4	-17.6
建設業	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	17.6	70.6	11.8	5.8	17	0.0	58.8	41.2	-41.2
観光・サービス	11	9.1	36.4	54.5	-45.4	11	9.1	27.3	63.6	-54.5	11	18.2	54.5	27.3	-9.1

自社業況判断DIの推移

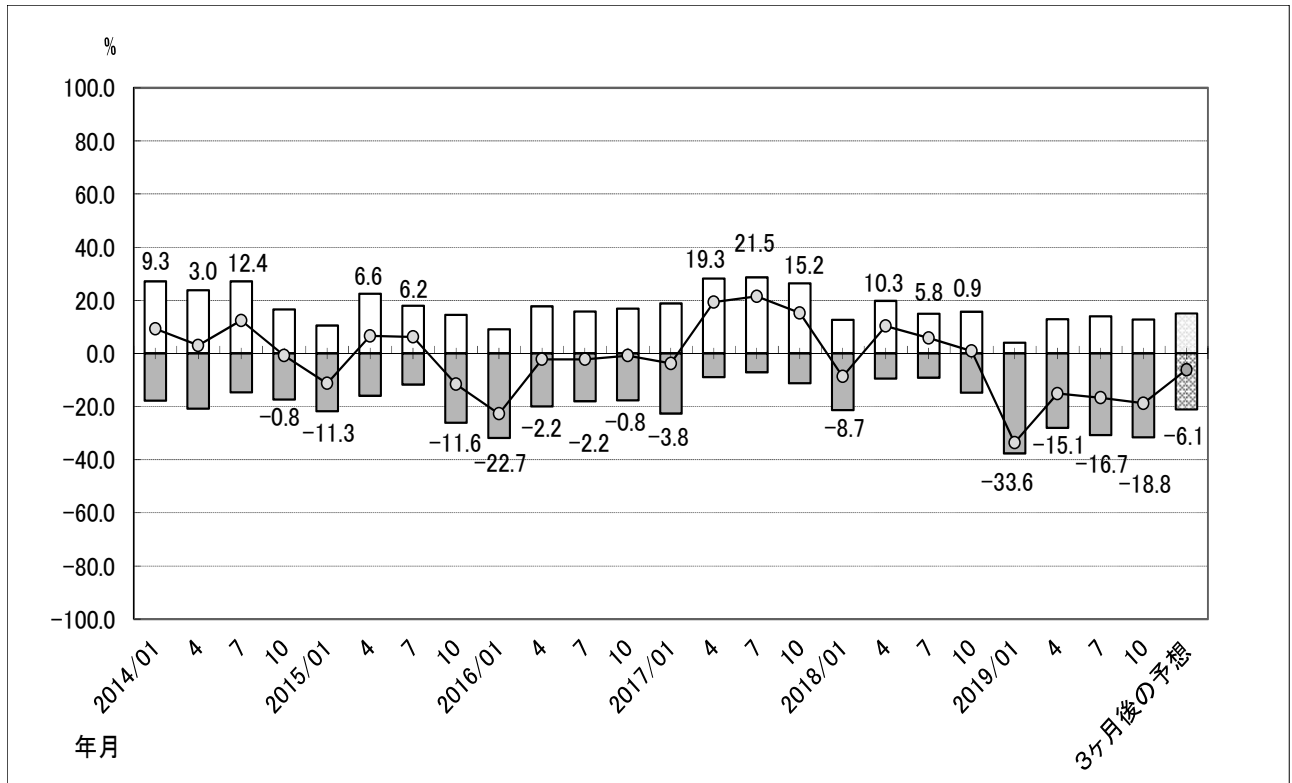
回答全社:「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



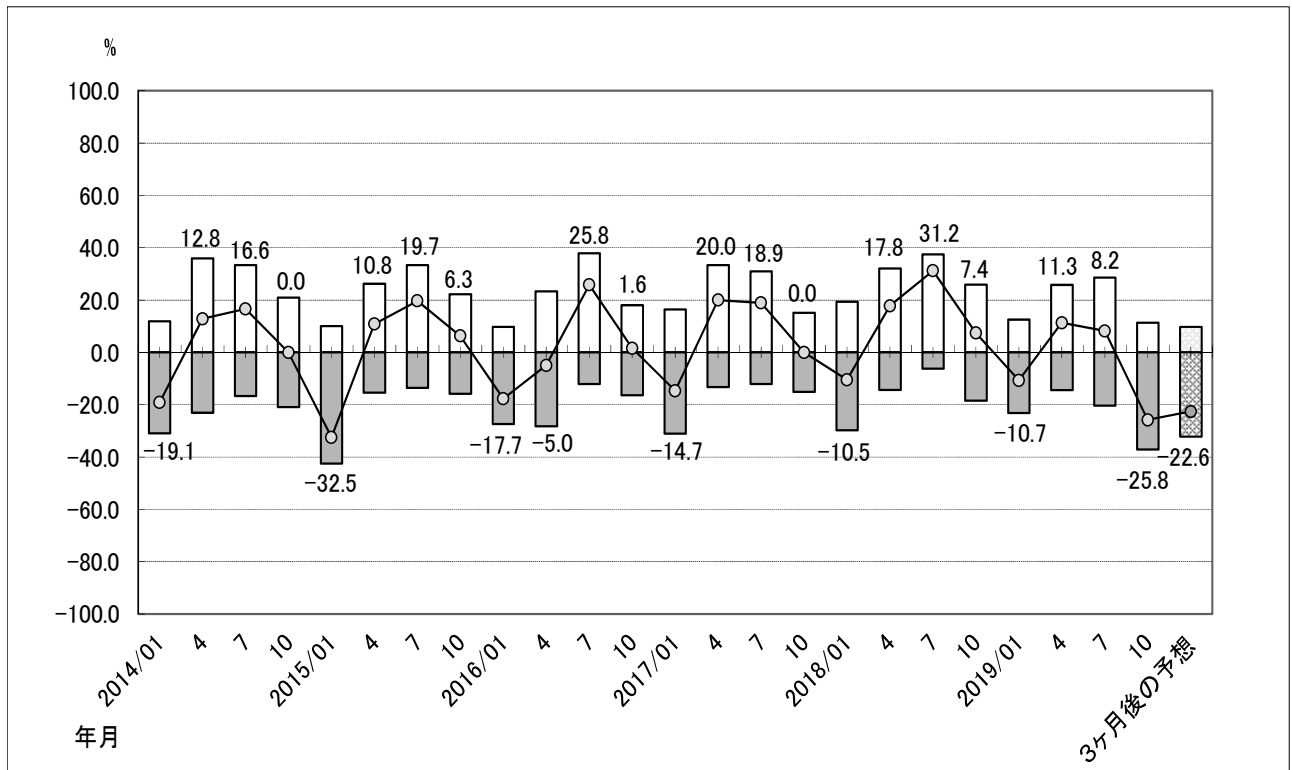
●製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1.製造業

業況判断DIは「3カ月前」と比べ△18.8で、前回の△16.7から悪化した。「前年同期比」は、好転企業がやや増加し、悪化企業が減少したため、△37.6と前回の△45.6から8.0ポイント改善した。「3カ月後」の予想は△6.1で、前回の△7.0からやや改善した。

設備投資DIは、「3カ月前」に比べて5.2で前回の0.9より改善した。「前年同期比」も前回の△7.0から7.6へ好転した。ただ、先行きの不確定要素が多く、設備投資をためらう企業も見られ、「3カ月後」の予想DIは2.3で、前回の3.5から悪化した。

収益性DIは、「3カ月前比」で△17.3と前回の△26.3から9.0ポイント改善したが、「前年同期比」は前回の△30.7から△33.8へ3.1ポイント悪化した。「3カ月後」の予想は△13.6で、前回の△10.6からやや悪化している。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは「3カ月前」と比べて、「精密機械」が△15.4(前回△9.1)、「電気機械」が△13.7(同△6.3)、「一般機械」は△25.8(同△14.8)、「輸送用機械」は△46.2(同△15.4)と悪化し、「金属製品」は△10.5(同△36.4)と改善した。

「前年同期比」では、「金属製品」が△42.1(前回△57.6)、「一般機械」は△32.3(同△51.9)、「精密機械」は△61.5(同△63.6)と改善し、「輸送用機械」は△53.8(同△46.2)と悪化した。「電気機械」は△31.8(同△31.2)でほぼ同率だった。

「3カ月後」の予想DIは「電気機械」が4.6(前回△6.2)、「金属製品」は5.3(同△9.0)と好転したが、「輸送用機械」が△46.2(同△7.7)、「一般機械」は△9.7(同△7.4)、精密機械も△15.4(同0.0)と悪化した。

消費増税の影響は「3カ月前」に比べて好転企業はなく、悪化企業が12.8%だったが、大部分が横這で推移している。また、台風の影響は、長野方面の支店浸水、取引先の被災、物流の停滞などが見られたが、65.4%の企業は影響はなかったとしている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3カ月前と比べて					前年同期と比べて					3カ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	133	12.8	55.6	31.6	-18.8	133	12.0	38.3	49.6	-37.6	133	15.0	63.9	21.1	-6.1	
規模	1~29人	71	15.5	46.5	38.0	-22.5	71	8.5	40.8	50.7	-42.2	71	7.0	71.8	21.1	-14.1
	30~99人	43	9.3	69.8	20.9	-11.6	43	16.3	34.9	48.8	-32.5	43	23.3	51.2	25.6	-2.3
	100人~	19	10.5	57.9	31.6	-21.1	19	15.8	36.8	47.4	-31.6	19	26.3	63.2	10.5	15.8
分類	金属製品製造業	38	21.1	47.4	31.6	-10.5	38	7.9	42.1	50.0	-42.1	38	23.7	57.9	18.4	5.3
	一般機械器具製造業	31	9.7	54.8	35.5	-25.8	31	12.9	41.9	45.2	-32.3	31	9.7	71.0	19.4	-9.7
	電気機械器具製造業	22	13.6	59.1	27.3	-13.7	22	18.2	31.8	50.0	-31.8	22	18.2	68.2	13.6	4.6
	輸送用機械器具製造業	13	0.0	53.8	46.2	-46.2	13	0.0	46.2	53.8	-53.8	13	0.0	53.8	46.2	-46.2
	精密機械器具製造業	13	0.0	84.6	15.4	-15.4	13	7.7	23.1	69.2	-61.5	13	7.7	69.2	23.1	-15.4

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べ $\Delta 10.5$ で、前回調査時の $\Delta 36.4$ から改善した。「前年同期比」は $\Delta 42.1$ で前回の $\Delta 57.6$ よりは縮小したが、依然低水準で推移している。一方、「3ヵ月後」の予想は 5.3 で前回の $\Delta 9.0$ から好転した。量産品の受注があった前年同期に比べ、今期は小ロットの生産が多くなっている。台風の影響で県外出荷分の納品の遅延が発生した企業もある。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 25.8$ で、前回の $\Delta 14.8$ から悪化した。「前年同期比」は $\Delta 32.3$ で、前回の $\Delta 51.9$ より改善した。「3ヵ月後」の予想は $\Delta 9.7$ で、前回の $\Delta 7.4$ から悪化した。省力化機械は、人手不足の分野で好調だが、設備投資の抑制で計画の延期や中止もある。工作機械やロボット関連は相変わらず低調な動きが続いているが、一部自動車関連のライン設備で好調な企業はある。医療機器関連は堅調に推移し、レジ部品関連も消費増税に伴うレジの入れ替えがあり、増税後も受注は安定している。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは「3ヵ月前比」で $\Delta 13.7$ と前回の $\Delta 6.3$ から悪化し、「前年同期比」は $\Delta 31.8$ で前回の $\Delta 31.2$ とほぼ同様に推移している。一方、「3ヵ月後」の予想は 4.6 で前回の $\Delta 6.2$ から好転した。プリンター部品は中国の需要減少で受注の減少傾向が続く。EV電池製品は好調を維持し増産要請もあるが、一方でコストダウン要請もある。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 46.2$ で、前回の $\Delta 15.4$ から大幅に悪化した。「前年同期比」は $\Delta 53.8$ で、前回の $\Delta 46.2$ から悪化幅が広がり、「3ヵ月後」の予想も $\Delta 46.2$ で、前回の $\Delta 7.7$ から大幅に悪化している。中国経済の減速などで自動車販売の伸び悩みが影響し、自動車関連部品は総体的に低調な動きになっているが、一部海外向けで受注が安定している企業もある。メーカーによっても格差があり、しばらく同様に推移すると見られる。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 15.4$ で前回の $\Delta 9.1$ から悪化し、「前年同期比」は $\Delta 61.5$ で前回の $\Delta 63.6$ とほぼ同様だった。「3ヵ月後」の予想は $\Delta 15.4$ で前回の 0.0 より悪化した。デジカメ関連は、メーカーによって好不調がはっきりしている中で、新商品の販売開始と年末商戦に向けた受注増が期待されている。プロジェクターは中国市場の動きが鈍い。

②規模別業況

業況判断DIは、「3ヵ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の $\Delta 25.4$ から $\Delta 22.5$ へやや改善したが、「30～99人」規模は前回の $\Delta 7.5$ から $\Delta 11.6$ へ悪化した。「100人以上」規模も前回の $\Delta 6.6$ から $\Delta 21.1$ へ悪

化した。「前年同期比」は「1～29 人」規模が前回の△52.5 から△42.2、「30～99 人」規模は前回の△35.0 から△32.5、「100 人以上」規模は、前回の△46.7 から△31.6 へわずかながら改善した。一方、「3 ヶ月後」の予想は、「1～29 人」規模が前回の△16.9から△14.1 へ改善したが、「30～99 人」規模は前回の 7.5 から△2.3 と悪化した。「100 人以上」規模は前回の△6.7 から 15.8 へ好転した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3 ヶ月前」と比べて受注状況DIは「増加」企業 17.3%、「減少」企業 36.1%で△18.8 と、前回調査時の△28.1から改善した。「前年同期比」も△44.4で前回の△46.4からやや改善した。「3 ヶ月後」の予想も前回の△13.1 から△9.8 へ改善した。

規模別の受注状況DIは、「3 ヶ月前」と比べて「1～29 人企業」は△19.7 で、前回の△35.6 から改善したが、「30～99 人企業」は△18.6 で、前回の△17.5 から悪化した。「100 人以上企業」は△15.7 で前回の△26.6 から改善した。「前年同期比」は「1～29 人企業」が△47.8 で前回の△49.1 からやや改善し、「30～99 人企業」は△44.1 で前回の△42.5 から悪化した。「100 人以上企業」は△31.5 で前回の△46.7 から改善した。「3 ヶ月後」の予想は「1～29 人企業」が△19.7 で前回の△18.6から悪化した、「30～99 人企業」は 0.0 で前回の△7.5 から改善し、「100 人以上企業」も 5.2 で前回の△6.7 から好転した。

業種別(主要 5 業種)の「3 ヶ月前比」は、「精密機械」が前回の△27.3 から△15.4、「一般機械」は△33.3 から△16.1、「金属製品」が△39.4 から△13.1 へ改善したが、「輸送用機械」は前回の△23.1 から△46.2、「電気機械」は△18.8 から△22.7 へそれぞれ悪化した。「前年同期比」では、「一般機械」が△55.6 から△35.4、「電気機械」は△37.5 から△31.8、「金属製品」が△66.6 から△55.2 と改善したが、「輸送用機械」が△30.8 から△61.5、「精密機械」は△54.5 から△76.9 へそれぞれ悪化した。「3 ヶ月後」の予想は「電気機械」が△6.2 から 13.6、「一般機械」が△22.2 から△6.5、「金属製品」は△9.0 から△5.2、「精密機械」は△9.1 から△7.7 へ改善したが、「輸送用機械」は△7.7 から△53.8 へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

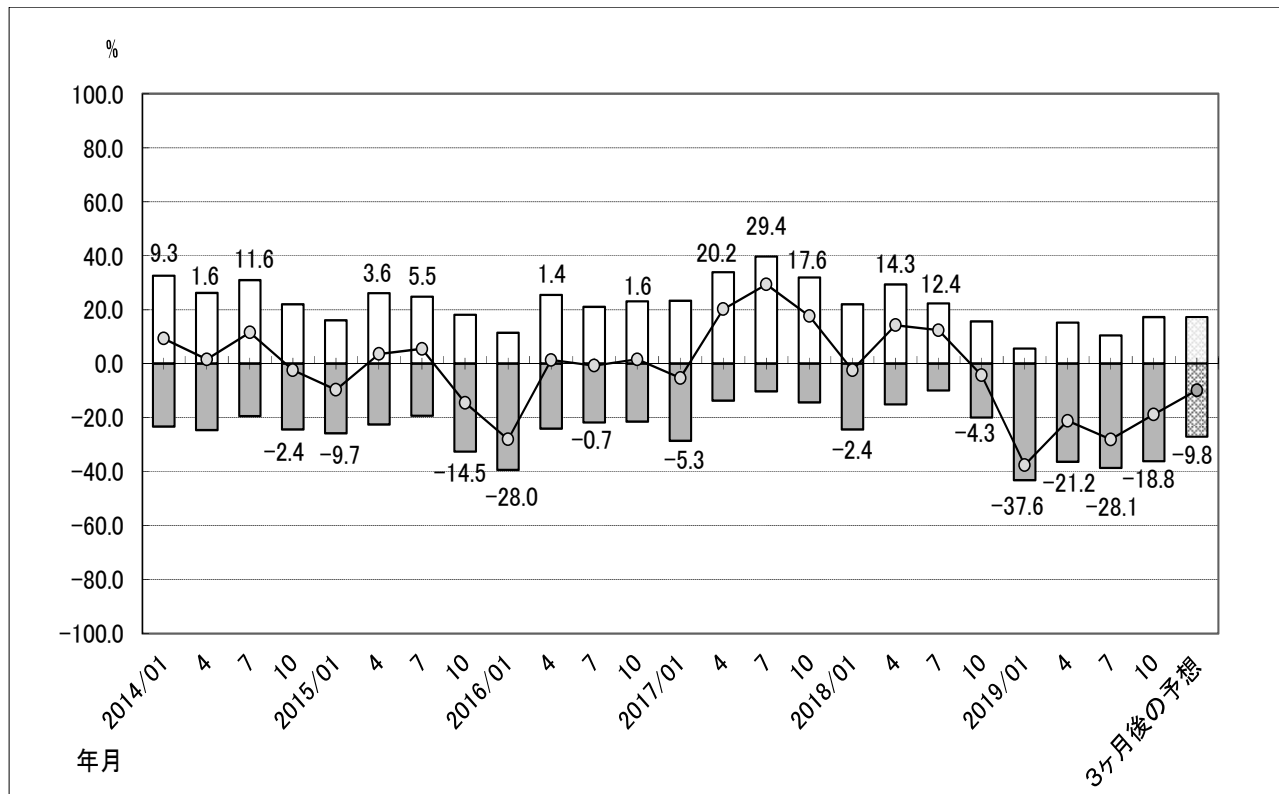
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	133	17.3	46.6	36.1	-18.8	133	12.0	31.6	56.4	-44.4	133	17.3	55.6	27.1	-9.8	
規模	1～29人	71	16.9	46.5	36.6	-19.7	71	8.5	35.2	56.3	-47.8	71	9.9	60.6	29.6	-19.7
	30～99人	43	16.3	48.8	34.9	-18.6	43	14.0	27.9	58.1	-44.1	43	25.6	48.8	25.6	0.0
	100人～	19	21.1	42.1	36.8	-15.7	19	21.1	26.3	52.6	-31.5	19	26.3	52.6	21.1	5.2
分類	金属製品製造業	38	21.1	44.7	34.2	-13.1	38	5.3	34.2	60.5	-55.2	38	21.1	52.6	26.3	-5.2
	一般機械器具製造業	31	22.6	38.7	38.7	-16.1	31	19.4	25.8	54.8	-35.4	31	12.9	67.7	19.4	-6.5
	電気機械器具製造業	22	18.2	40.9	40.9	-22.7	22	22.7	22.7	54.5	-31.8	22	22.7	68.2	9.1	13.6
	輸送用機械器具製造業	13	0.0	53.8	46.2	-46.2	13	0.0	38.5	61.5	-61.5	13	0.0	46.2	53.8	-53.8
	精密機械器具製造業	13	7.7	69.2	23.1	-15.4	13	0.0	23.1	76.9	-76.9	13	23.1	46.2	30.8	-7.7

製造業の受注状況DIの推移

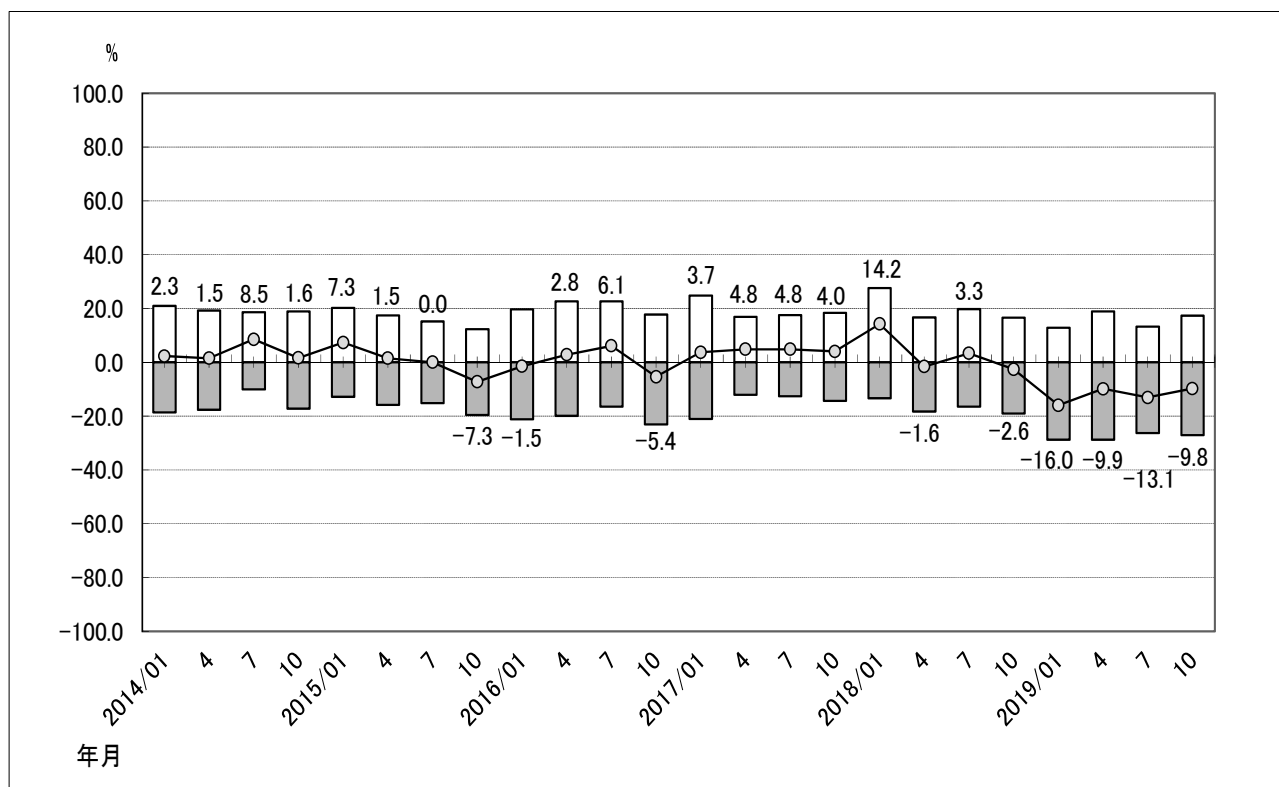
●製造業全社:「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



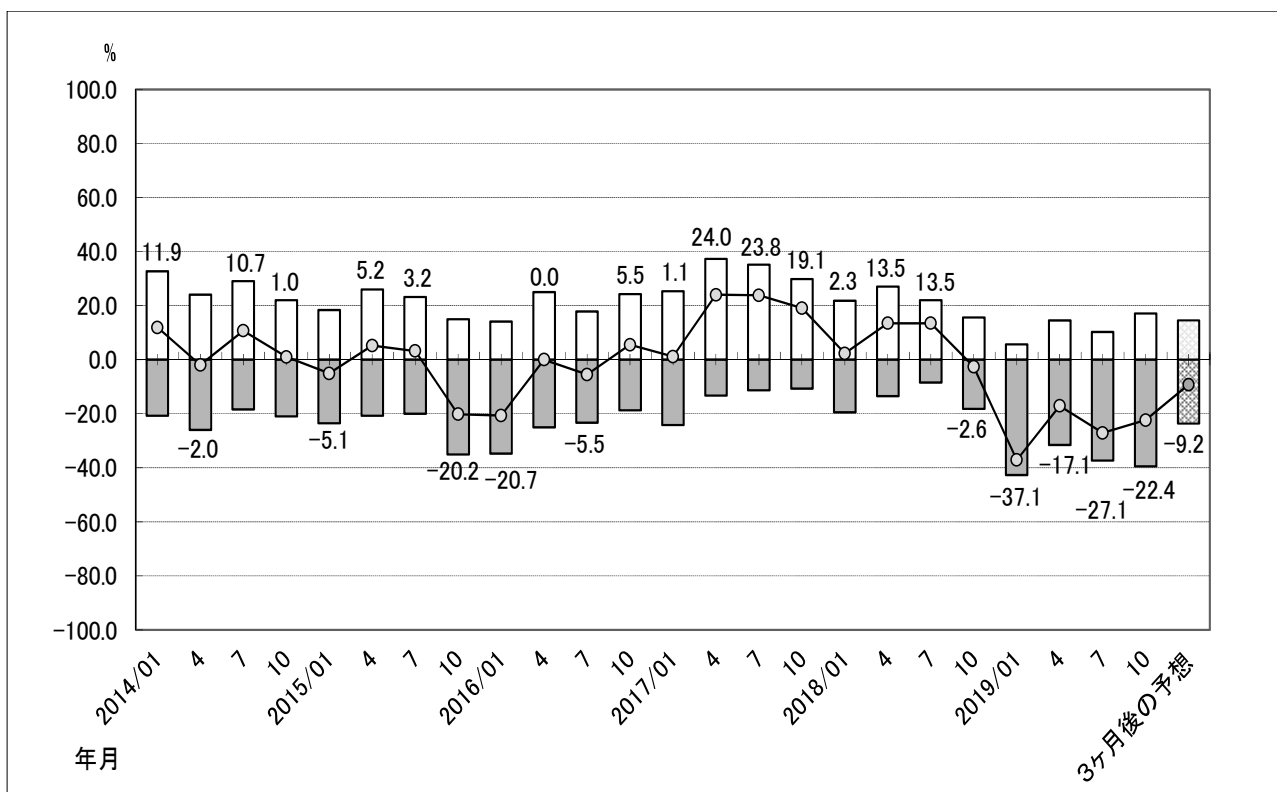
●製造業全社:「3ヵ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



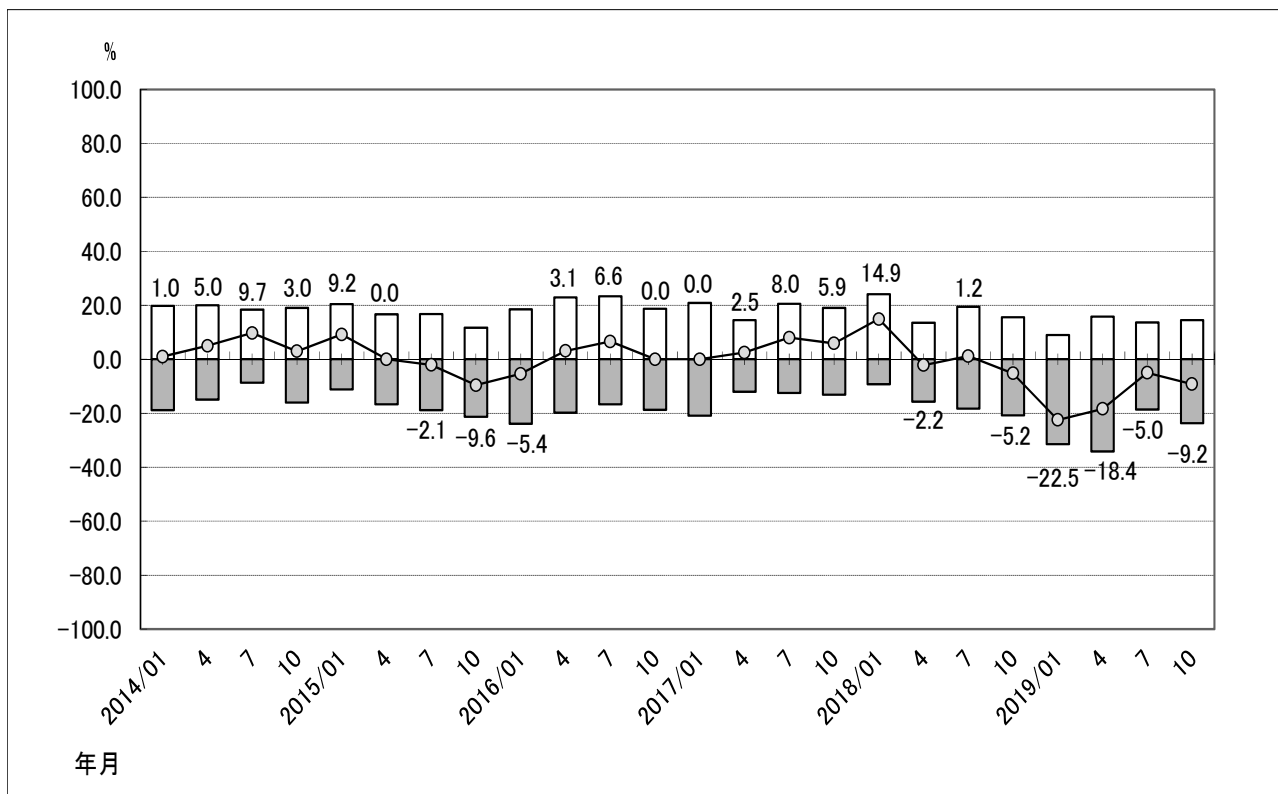
●製造業 主要5業種:「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヵ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

① 商業

増税による需要停滞に、台風被害が追い打ちをかけた形で、「前年同期比」の来店客数DIは△50.0 と前回の△24.0 から大幅に悪化し、売上DIも前回の△28.0 から△47.1 へ悪化した。仕入れ価格が上昇したが、販売価格に転嫁しきれない小売店もある。加えて、最低賃金上昇でパートやアルバイトの person 費が上昇している。

- 大型店 酒類をはじめ駆け込み需要の反動減があった。交通寸断で商品が入らず、チェーン店では県内被災店舗へ商品を融通したため、パンなどが一時商品棚から姿を消した。
- 自動車 諏訪地方の10月の車庫証明件数(軽自動車除く)が834件で、前年同月比では108件減少(△11.5%)した。
- 書店 大学センター試験の英語の受験に民間試験が導入されないことになり、参考書などの売上増への期待が薄れた。
- 靴店 雨天が多く、防水系の靴の売れ行きが伸び、品不足で入荷が遅れた店舗がある。
- 飲食店 鉄道や高速道路の不通で企業関係の接待予約が減少した。
- 野菜直売所 台風による物流停止や出荷元の被災で、一部商品に仕入れ難が生じた。例年集客に寄与するキノコ類が不作だった。

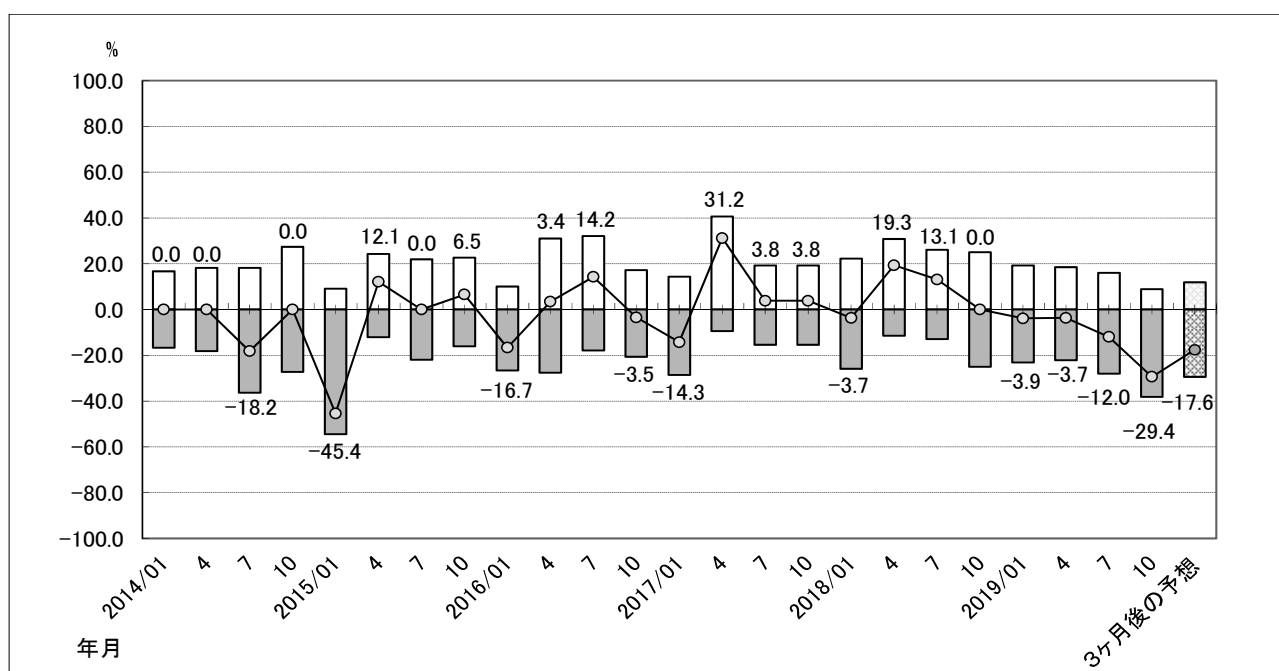
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	34	8.8	52.9	38.2	-29.4	34	5.9	41.2	52.9	-47.0	34	11.8	58.8	29.4	-17.6
客単価	34	8.8	70.6	20.6	-11.8	34	8.8	64.7	26.5	-17.7	34	8.8	70.6	20.6	-11.8
来店客数	34	14.7	32.4	52.9	-38.2	34	8.8	32.4	58.8	-50.0	34	14.7	50.0	35.3	-20.6

●商業全社:「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



② 観光・サービス業

各地の観光施設では、台風19号の影響が大きく、「前年同期比」で宿泊客数DIは△36.3で、前回の9.1から大幅悪化した。諏訪地方から外部へ向かう動きも官公庁や学校関連の大型旅行などがキャンセルとなり、延期ではなく、中止になったものも多い。消費増税の影響は台風で検証が難しいため、年末にかけての動きが注視される。3ヵ月後の予想では、増税の影響は50%が「悪化」と見込んでいる。

- 上諏訪温泉 2人以上の複数人の利用者と団体が全て減少した。総体の損失は1億円以上との試算もある。ただ、諏訪圏工業メッセや全国神社大会、全国きのこ学会、諏訪湖マラソンでの個人客の取り込みがあり、マイナス幅縮小には寄与した。
- 下諏訪温泉 例年に比べ落ち込みが大きく、12月までの予約も低調で一層の厳しさが予想される。
- 蓼科・白樺湖 三連休の事前予約は好調だったが、台風でインバウンドを含むキャンセルが相次ぎ、停電による休館もあった。台風の影響報道で、足元を見て「安く泊まれますか」といった問い合わせもあった。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた10月の参拝者数は約6万3千人で、前年同月比約7千人減少(△10.5%)した。

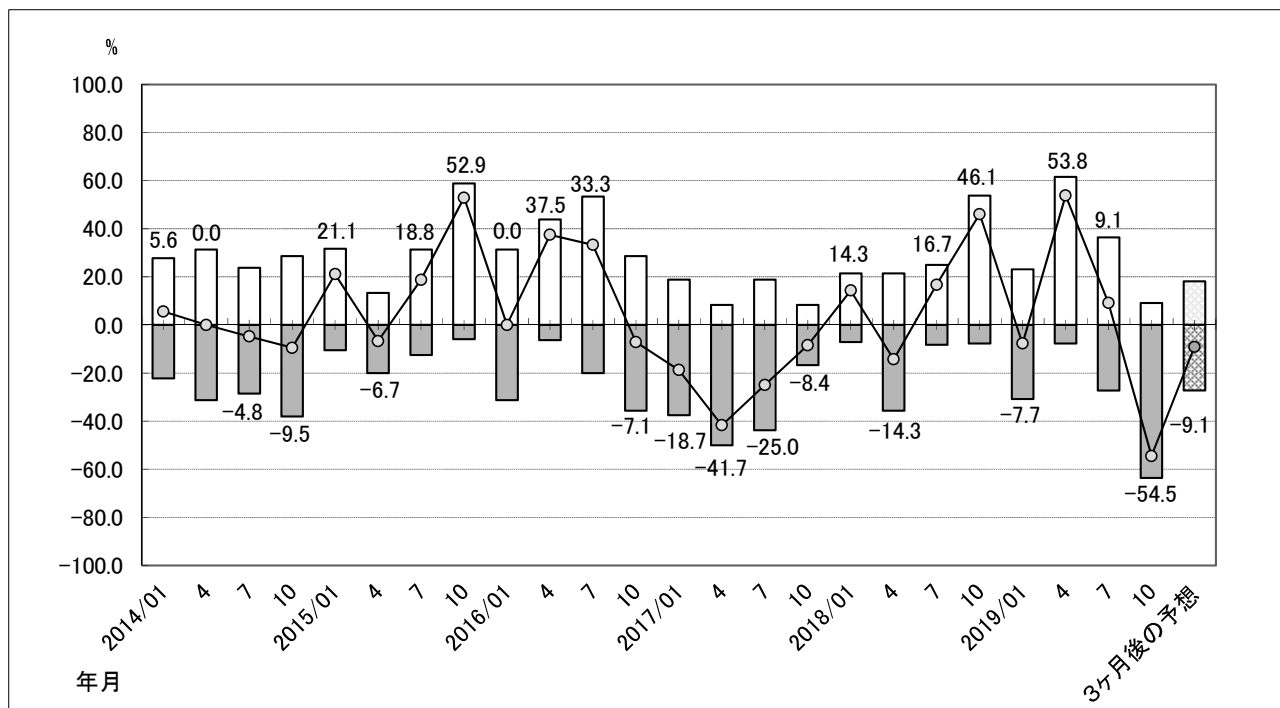
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	9.1	36.4	54.5	-45.4	11	9.1	27.3	63.6	-54.5	11	18.2	54.5	27.3	-9.1
客単価	11	9.1	72.7	18.2	-9.1	11	9.1	63.6	27.3	-18.2	11	9.1	63.6	27.3	-18.2
宿泊客数	11	18.2	27.3	54.5	-36.3	11	18.2	27.3	54.5	-36.3	11	18.2	54.5	27.3	-9.1

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

「3ヵ月前」と比べて収益性DIは△17.6 で前回の△7.7 から悪化し、外注発注量DIも 0.0 で前回の 15.4 から悪化した。資金繰りDIも前回の△7.7から△11.8へ悪化した。「前年同期比」では、業況判断DIは 5.8で前回の△7.7から改善し、受注状況DIは前回の△7.7から0.0へ改善した。「3ヵ月後」の予想DIは、受注状況が△41.2で前回の 23.1 から大幅悪化し、業況判断も△41.2で前回の 23.1 から大幅に悪化した。諏訪地方の 2019 年 4 月～9 月の新設住宅着工戸数は持家 382 戸、貸家 142 戸、分譲 103 戸、給与 0 戸で、合計 627 戸となり、前年同期比で 97 戸、18.3%増加した。

●建築工事

諏訪地方の 2019 年 9 月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市 13 戸、諏訪市 24 戸、茅野市 37 戸、諏訪郡 17 戸の合計 91 戸だった。長野県全体の 9 月の新設住宅着工戸数は 884 戸で、前年同月比 0.7% 増加した。持家は 12 ヶ月連続の増加、貸家と分譲は 2 ヶ月連続の減少となった。

●公共工事

10 月の市町村からの受注工事は、建築工事 0 件、土木・水道工事 63 件 496 百万円、その他工事 24 件 112 百万円だった。

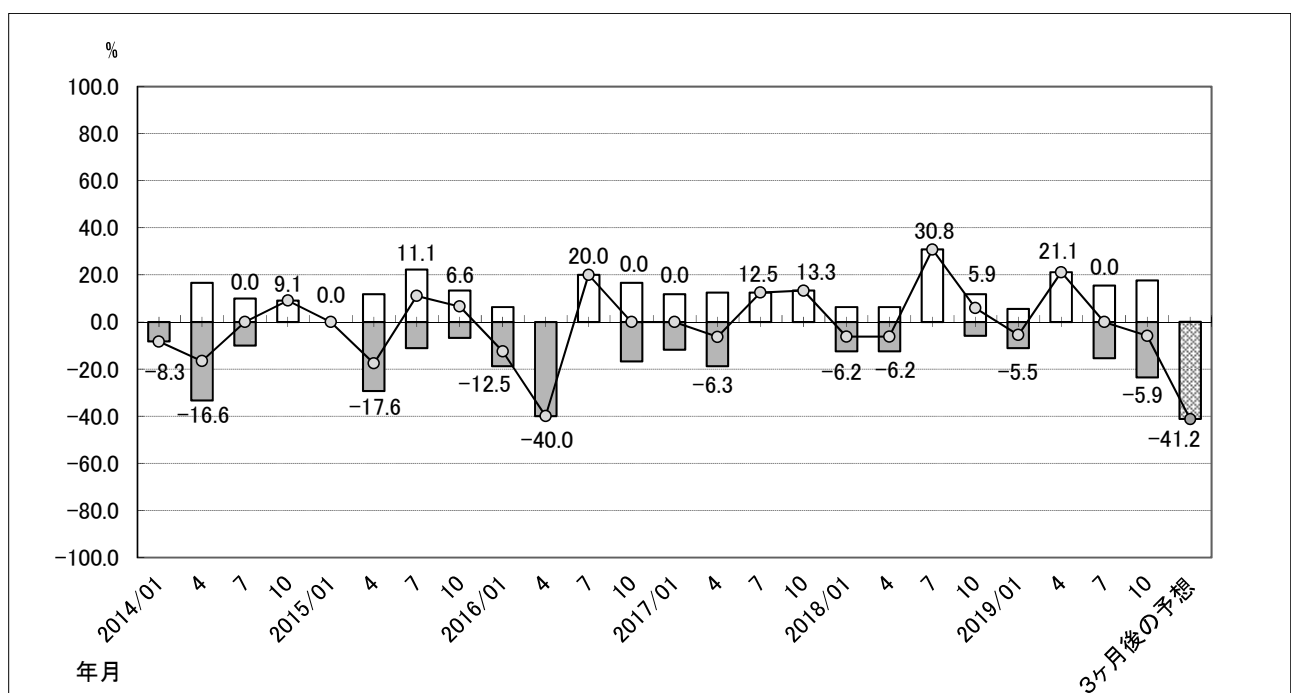
業況、受注状況、外注発注量

表－6

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	17.6	70.6	11.8	5.8	17	0.0	58.8	41.2	-41.2
受注状況	17	17.6	47.1	35.3	-17.7	17	23.5	52.9	23.5	0.0	17	0.0	58.8	41.2	-41.2
外注発注量	17	17.6	64.7	17.6	0.0	17	17.6	64.7	17.6	0.0	17	11.8	41.2	47.1	-35.3

●建設業全社:「3ヵ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフー10



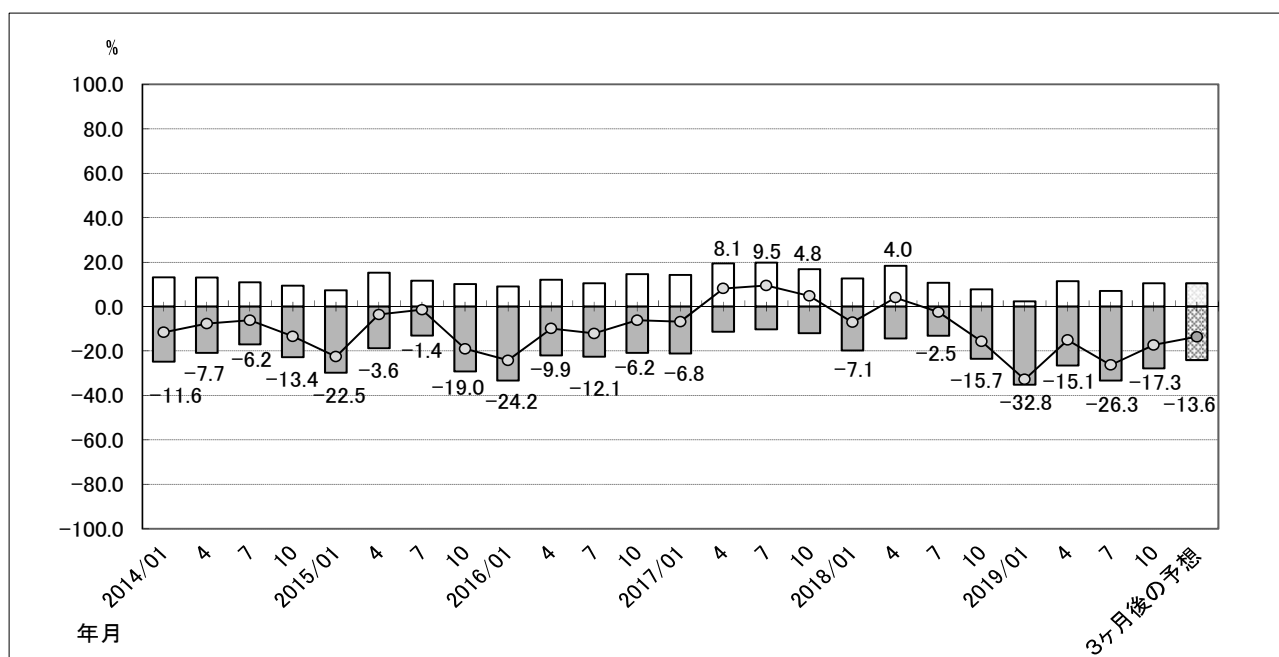
4.収益性状況

回答全社の「3ヵ月前」と比べた収益性は「好転」企業 8.7%、「悪化」企業 28.7%で、同DIは△20.0と前回調査時の△17.2から悪化した。「前年同期比」も△33.8で、前回の△26.4より悪化している。製造業は「3ヵ月前」と比べて△17.3で前回の△26.3より9.0ポイント改善したが、非製造業が△25.8で前回の4.1より29.9ポイント悪化している。

「3ヵ月後」の予想DIは、製造業が△13.6で前回の△10.6より悪化し、非製造業も△17.7で前回の4.1から悪化している。回答全社では△14.8で、前回の△6.1より悪化した。

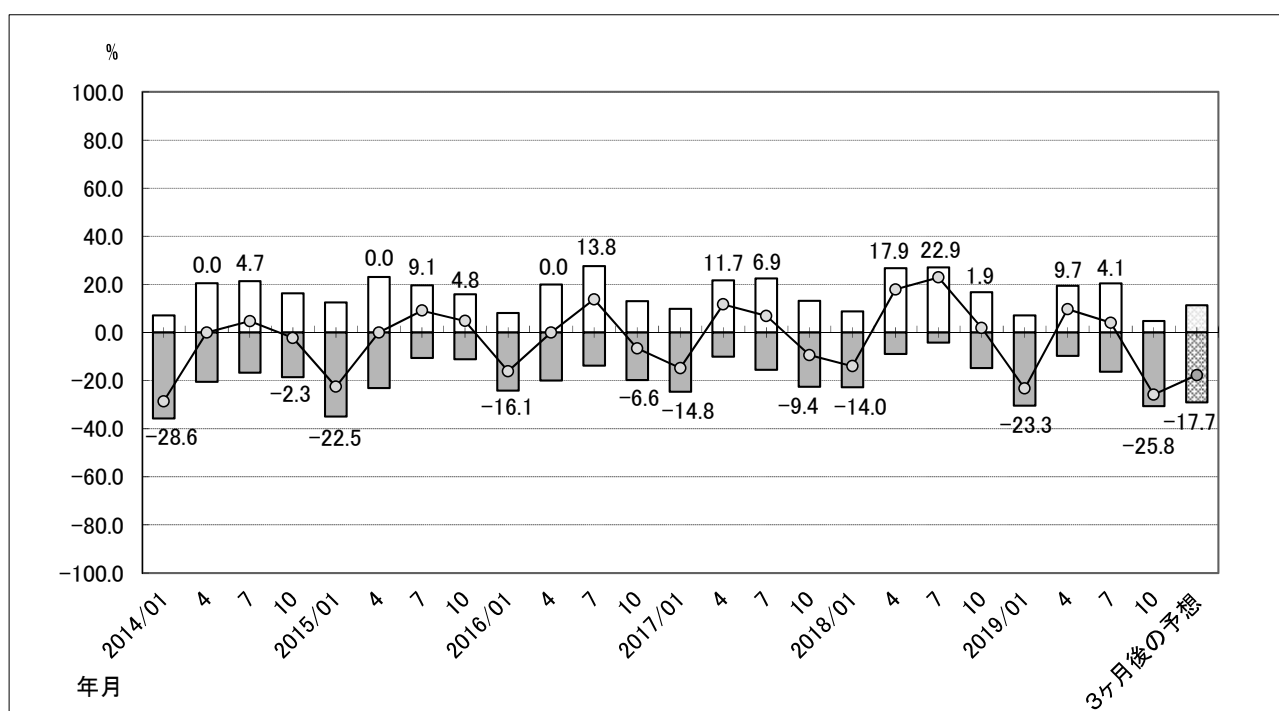
●製造業:3ヵ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヵ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少と労働力確保②商業は売上減少と人件費③建設業は労働力確保と売上減少、資金繰り、人件費④観光・サービス業は売上減少、人件費となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	113	80	20	5	8
単価引下げ	24	18	3	3	0
競争激化	44	33	8	3	0
資金繰り	50	29	12	5	4
人件費	60	34	14	5	7
労働力確保	74	47	11	14	2

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比
有効求人倍率【9月】	ハローワーク諏訪	1.52倍	△0.33ポイント
手形交換高【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	4,041枚	△1,514枚
	金額	6,307百万円	△1,899百万円
	うち不渡り 発生状況	枚数	1枚
	金額	1,550千円	1,550千円
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		834件	△11.5%
新設住宅着工戸数【2019年4月～9月】(諏訪管内)		627戸	18.3%

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 2019年10月末。
- ② 調査内容 「2019年10月末」の実績と、「3ヵ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヵ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査および約130社のヒアリング調査。
- ④ 回答企業数 195企業。
- ⑤ 回答率 78.0%。

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	133	34	17	11	195

「諏訪の景気動向」についてのご意見、ご要望は
諏訪信用金庫 総務部へ
電話 0266-23-4567